

科目名	2級造園技能士資格対策						年度	2026	
英語科目名	Level 2 landscaping technician qualification measures						学期	前期	
学科・学年	土木・造園科 2年次	必/選	選	時間数	90	単位数	3	種別※	実習
担当教員	佐藤 武久、鶴田 真二		教員の実務経験	有	実務経験の職種	造園施工（佐藤、谷合）			
【科目の目的】 2級造園技能検定合格を目指す過程において、造園の基本的技術を身につけることのみならず、作業を効率よく進める方法を自ら考え実践する姿勢を身につけること、あきらめずに物事に取り組む姿勢を身につけることなどを学習目的とする。									
【科目の概要】 2級造園技能士合格のための対策を行います。									
【到達目標】 2級造園技能検定の製作等作業試験および判断等試験、学科試験のすべてに合格することを到達目標とする。									
【授業の注意点】 実習には危険を伴う作業も含まれるため、レクチャー中および実習中の私語や受講態度などには厳しく対応する。服装は作業に適したものであること（サンダル、短パン等は認めない）。ヘルメットや手袋の着用など、教員の指示に従うこと。着替えは始業前に済ませておくこと。高い気温の中での作業時には水分の補給を認めるが、お茶・スポーツドリンクのみとする。授業時間数の4分の3以上出席しない者は単位を認定しない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標A	作業試験を完全に再現	作業手順を理解し実践できる	作業手順を部分的に再現可能	基本的な手順を理解している	手順が不十分で再現できない				
到達目標B	作業に適切な判断をする	一部で適切な判断ができる	指導を受けつつ判断可能	判断に頼る場面が多い	判断力が不足している				
到達目標C	自主的に効率化を実践	効率を考えた作業ができる	効率化の意識を持ち行動	効率化に課題がある	作業の効率性が低い				
到達目標D	理論を実務に応用	理論理解が深まり試験に対応	理論を理解し解答可能	理論理解に課題がある	理論を理解しきれていない				
到達目標E	困難な場面でも継続	試行錯誤しながらも継続する	指導を受けつつ継続可能	継続する意欲が時に不足	継続力が不足しやすい				
【教科書】 2級造園技能検定受験の手引き日本造園組合連合会									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 課題への取り組み、到達度、授業への参加度を総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

